

研究課題名

「植込型補助人工心臓術後患者における自宅復帰過程の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2014年9月から2017年12月に当院で植込型補助人工心臓（VAD）を装着し歩行可能で自宅復帰された方。

2. 研究目的・方法・研究期間

VAD装着後は取り扱いに必要なテストや外出・外泊トレーニングなど、様々なプログラムを経て退院に至るため、術後在院までに日数を要します。術後はリハビリテーションを実施しますが、リハビリテーションが在院日数の短縮に寄与するかは不明です。本研究を実施することで、有効なリハビリテーションプログラムを立案できることを目指します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

以下の診療情報を使用します。

手術時の年齢、基礎疾患、既往歴、併存疾患、合併症、身長、体重、握力、下肢筋力、入院・ICU入室・ICU退室・座位・立位・歩行・外出・外泊・退院した日、運動負荷試験結果等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

466-8550

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町

名古屋大学医学部附属病院 052-741-2111

医療技術部 リハビリテーション部 服部慶子

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部 小林聖典